

流行ニュース:< デング熱、インドネシア (更新) ¹ >

2004年1月1日から4月30日までに、計58,301例のデング熱/デング出血熱(DHF)と死者658例がインドネシアの厚生省に登録されている。今年は致死率1.1%と例年に比べ低い。

30州全てが感染を受けているが、非常に多くの症例が17州の293の都市と地区から報告されている。

1998年はデング熱/デング出血熱の120万例以上が56ヶ国からWHOに報告された世界的流行の年であり、インドネシアでは年間72,133例、死者1,414名、致死率2.2%であった。今年のインドネシアでの流行はそれと同規模であるようだ。1998年と同様、今年のインドネシアでは最も流行している血清型であるDEN-3(37%)が現れたが、DEN-4(19%)、DEN-2、DEN-1もまた存在している。

4月下旬、すべての州において症例数は低レベルとなり状況は正常化した。最も影響を受けた州(バリ、ジャカルタ、ヌサテンガラ、ティモール)は未だ監視下に置かれている。参照: ¹No.17,2004,p161

< 黄熱、ブルキナファソ >

2004年5月10日、ブルキナファソの厚生省(MOH)はBobo-DioulassoとGaoua地区において計25例の黄熱の疑似症例を報告した。収集された16標本のうち4標本はセネガルのダカールにあるパスツール研究所の黄熱WHO共同センターでの検査からも確認された。その確認された4標本はBobo-Dioulassoからのものであった。

WHOは保健危機委員会と共に疾病管理の最良の方策を模索しており、MOH/WHO合同チームは現在現地におけるさらに進んだ疫学調査を実施している。

今週の話題:

< Buruli 潰瘍 Mycobacterium ulcerans 感染: 世界からの症例報告の概要 >

* 背景:

Buruli 潰瘍は *Mycobacterium ulcerans* (M.ulcerans) が原因となる皮膚疾患である。近年、熱帯や亜熱帯地域の国々にとって重要な公衆衛生上の問題となってきており、海外旅行に関連した Buruli 潰瘍が時々報告がされている。この疾患は局在化しており、住民が医療を受けることに制限があるような遠隔地でしばしば発生する。正確な伝播経路は解明されていないが、水が停滞またはゆっくり流れている付近の地域で発症している。この疾患はヒトからヒトへは伝播しない。未だ外科的治療が中心となっている。Buruli 潰瘍は医療関係者や一般市民にも理解度が低く、認識不足があり、報告が不十分である。疾患の認識が欠けると診断やその後の治療が遅れ、重度の変形や身体障害となってしまう。

以下の報告は30ヶ国からの報告を要約したものであり、その目的は疾患への意識を高めることである。報告されていなくとも隣接する同じような環境因子を持つ国々においては監視システムの警戒が必要とされる。

1. アンゴラ: 1998年、2歳半の男児が Buruli 潰瘍の治療を受けた。2003年、コンゴ民主共和国(DRC)においてアンゴラ人難民の27症例が報告され、DRC内の病院で治療を受けた。
2. オーストラリア: 1948年に M.ulcerans 感染の6症例がビクトリア州で初めて報告された。これがこの疾患の世界初の公式報告であった。その時、初めてのマウスへの伝播と細菌培養の成功も報告された。現在オーストラリアでは毎年20-30例のみ発生しているが、早期発見、早期治療のため重大な健康問題とはなっていない。
3. ベナン: 5,700例以上が1989-2003年に件報告された。流行地域は国の南部地域であった。
4. ブルキナファソ: 1998年に最初の報告(6症例)があった。以来40症例以上報告されている。
5. カメルーン: 1977年に Nyong valley と Akonolinga 区において47症例が報告された。以来2001年までこの疾患は消滅したと思われていた。しかし、2001年の同地区における調査で98,000人に新旧400症例以上が見つかった。2002、2003年に計354例の新症例がこの2地区で登録された。消滅したと断言するには慎重な評価が必要である。
6. 中国: 2000年に M.ulcerans 感染の最初の症例報告があった。2001年と2003年に各1例の未発表症例があった。
7. コンゴ: 最初の発表は1965年の2症例であった。2001年、政府はWHOに Buruli 潰瘍疑似症例の増加について調査を依頼し、緊急調査で52例が同定された。2001-2003年に計338症例が報告された。これらの多くは Kouilou 川、Kitina 湖および N' dinga 湖沿いで発生した。
8. コートジボアール: 1978年に Buruli 潰瘍の最初の報告(フランス人の男児)があった。1993年、124症例が Bouake の地域病院センターで報告された。1995年、研究により312症例が報告され、Daola 地域で Buruli 潰瘍の高まりつつある公衆衛生問題が強調された。1997年、この疾病の負担や地理的広がりを確定し国家プランに役立てるために国家規模の調査が実施された。1978-2003年の累積症例数は17,000症例であった。

9. コンゴ民主共和国 (DRC): 1950 年に最初の患者が報告された。1974 年に 430 例が報告され、最も深刻な報告であった。2003 年に新症例が 53 例報告され、そのうち 27 例はアンゴラ難民であった。
10. 赤道ギニア: 2000 年に 9 件の疑い例があったが報告書は公表されなかった。赤道ギニアは流行国として知られるカメルーンやガボンと隣接している。
11. ガイアナ: 1969 年に Buruli 潰瘍が初めて発見された。2003 年 12 月 31 日に累積症例数は 195 例であった。35 年間、平均発生率は 1,000 人に対し 0.05 例である。Kourou 川と Maroni 川の河口の間に位置する岸沿いで発生率が高い (1 年に 1000 人につき 0.1-1 例)。
12. ガボン: 1961 年に最初の 2 例の報告があり、さらに 23 例が 1986 年に報告された。多くの流行地域は Ogooue 川流域に位置していた。この疾患はいまだにガボンに存在する。
13. ガーナ: 1971 年に最初の報告があった。1989 年に 96 症例、1993 年-1998 年の間に約 300 症例が報告され、多くの患者は Oda と Offin 川付近に居住していた。1999 年に国全体の調査により約 6,000 症例が確認され、10 地域全てが感染を受けていることが初めて明らかになった。2000-2003 年に約 2,800 例が報告された。
14. ギニア: 1993 年-2003 年末に計 489 例が、主に森林地域から報告された。
15. インドネシア: 1965 年にスマトラ北部で発見された。バリでもオーストラリア人観光客 1 名に発生したが公式報告はされていない。
16. 日本: 唯一、1989 年に M.ulcerans 感染が 1 症例報告された。
17. キリバス: 1987 年に 2 例の M.ulcerans 感染が報告された。
18. リベリア: 1981 年に初めて Buruli 潰瘍の 3 症例が報告された。1984 年さらに 4 症例が河川流域の地域から報告された。
19. マラウイ: 2001 年に Buruli 潰瘍の 2 症例が報告された。以来報告はないが、未確認の症例報告がある。
20. マレーシア: 1966 年にこの疾患についての記載があり、その後の集団発生があるが公式記録はない。
21. メキシコ: 1953 年に M.ulcerans 感染 1 症例が報告された。これがアメリカ大陸からの初報告であった。この地域にその後も発症例があったことは知られているが、公式報告はない。
22. ナイジェリア: 1967 年、最初の 4 症例が報告された。最新の発表は 1976 年の 24 症例であった。1998 年にこの疾患に関する発表されていない情報があった。近年、ナイジェリアの Buruli 潰瘍の患者がベニンで治療を受けたようだがナイジェリアからの報告はない。近隣国のベニンやカメルーンを含むアフリカ西部では症例が増加し、ナイジェリアにおける Buruli 潰瘍の状況を評価する必要がある。
23. パプアニューギニア: 1971-2003 年に計 433 症例があった。
24. ペルー: 最近の調査で 5 人の患者を発見した。
25. シエラレオネ: 1975 年に唯一、1 症例の報告があった。
26. スリランカ: M.ulcerans 感染の皮膚潰瘍が 1942 年にオーストラリア軍内で発見された。潰瘍は連隊の 1 大部隊のみで発生し、その部隊は湖畔に駐在していた。それ以来、確定報告はない。
27. スーダン: 最初の症例は赤十字病院で見つかり、その後 2001 年にベルギーで確認された。2002 年 6 月に 568 の熱帯潰瘍の集団発生の疑いが報告された。そのうち数例は Buruli 潰瘍と確認された。スーダンは流行国であるコンゴやウガンダと隣接しており、最近ではウガンダでスーダン南部と隣接する地域に Buruli 潰瘍が流行しているという情報があり、南部での状況評価が計画されている。
28. スリナム: スリナム起源の症例は近隣国のガイアナで報告されている。
29. トーゴ: 1996 年に最初の 2 例が報告された。1998-2003 年に計 400 例が報告され、年々増加傾向にある。トーゴにおける Buruli 潰瘍の状況の更なる評価が必要とされている。
30. ウガンダ: Buruli 潰瘍の名前は 1950 年代-1970 年代に多くの例を報告したウガンダの地区に由来する。最新の報告は 1976 年であり、その後消滅したと思われていたが、2003 年に 117 例の疑い例が Nakasongola (かつての Buruli 地区) で見つかり、再び流行の兆しが見える。Buruli 潰瘍のさらなる状況評価が必要とされる。

* 国際旅行に関係した Buruli 潰瘍:

診断国	感染の発生した国及び地域	年
アメリカ合衆国	コンゴ	1950
オーストラリア	パプアニューギニア	1954
アメリカ合衆国	リベリア	1967
アメリカ合衆国	ナイジェリア	1970
カナダ	アフリカ (主に西アフリカ)	1999
英国	ナイジェリア	2003
フランス	コートジボアールとマリ	2003

(本田順子、法橋尚宏、高田哲)